

〔総 - 4〕

国語調査委員会 臨時国語調査会 国語審議会	}	年度別（期別）審議状況一覧表
-----------------------------	---	----------------

文部省文化局国語課 〔昭和41年 9 月〕

この資料は、現在の国語審議会の前身と考えられる明治35年の国語調査委員会発足の前後から、臨時国語調査会、そして現在の国語審議会にいたるまでの審議状況を年度別（期別）の一覧表にまとめたものである。

1 国語調査の開始（明治33年 4 月～明治35年 3 月）

明治33年 2 月、帝国議会貴衆両院から「国字国語国文ノ改良ニ関スル建議」が政府に提出され、明治33年 4 月、文相は 8 名の国語調査員を任命、そこで国語の調査方針の予備調査が開始された。

2 国語調査委員会設置（明治35年 3 月～大正 2 年 6 月）

国語の調査方針を決定して調査研究を行ない、数種の参考資料を発表したが、大正 2 年 6 月、行政整理のため廃止された。

3 臨時国語調査会設置（大正10年 6 月～昭和 9 年12月）

調査方針の決定とともに、数多くの施策を発表したが、昭和 9 年12月、国語審議会の発足とともに発展的解消をした。

4 国語審議会設置（昭和 9 年12月～昭和24年 6 月）

文部大臣の諮問に応じて、国語審議会は数多くの建議・答申を行なった。しかし、昭和24年 6 月、従来の官制によるものから、文部省設置法に基づく政令による国語審議会に改組された。

5 国語審議会改組（昭和24年 6 月～昭和37年 4 月）

改組後の国語審議会は委員の任期を 2 年とし、その調査審議事項や委員推薦について、きわめて自主性の強い性格をもつものとなって再出発したが、昭和37年 4 月に国語審議会令が改正（諮問機関であることの明文化、委員等の推薦方式の廃止等。）されて、この点が改められた。その間、各期ごとに多数の報告、建議が行なわれてきた。

6 国語審議会改組（昭和37年 4 月～現在）

国語審議会令の改正により、諮問機関としての審議会の性格が明確にされた。その後、今期のはじめ、すなわち昭和41年 6 月文部大臣から具体的な諮問が行なわれ、調査審議が開始された。

1 国語調査開始

年 度	関 係 局	設 置 目 的	関 連 事 項	備 考	関 係 委 員 会
明治33年(1900年) 4月4日から明治35 年(1902年)2月12 日まで。 国語調査委員を囑 託。(4月2日) 委員長 前島密 委員 7名	総務局 図書課	国語調査の だいたいの方 針を定める予 備的調査を目 的とした。	衆議院「国字国語国文ノ改良ニ関 スル建議書」を可決した。 (明33.3.16) 貴族院「国字国語国文ノ改良ニ関 スル建議」を調査会を設けることに 修正可決。 (明33.3.1) 言文一致会から「言文一致の実行 に就ての請願」を両院に提出し採納 された。 (明34.2)	小学校令施行規則改正。 (明33.8.21) 1 仮名の字体 2 字音仮名遣(いわゆる 棒引きかなづかい) 3 小学校で教える漢字 を約1,200字と定めて 発表した。	

2 国語調査委員会設置

年 度	関 係 局	調 査	事 項	関 連 事 項	備 考	関 係 委 員 会
明治35年(1902年) 官制公布。 (3月24日) 委員長 加藤弘之 委員 11名 文部大臣の監督に属 し、国語に関する事 項を調査する。	総務局 図書課	調査方針を決議公示。 (7月4日) 1 文字ハ音韻文字(フォノグ ラム)ヲ採用スルコト、シ反 名羅馬字等ノ得失ヲ調査スル コト 2 文章ハ言文一致体ヲ採用ス ルコト、シ是ニ関スル調査ヲ 為スコト 3 国語ノ音韻組織ヲ調査スル		言文一致会か ら全国の師範学 校へ言文一致実 行法の研究を勧 め、また「言文 一致論集」を発 行した。		「外国地名及人名ノ 称へ方及書キ方取調 委員」を命じ、師範 学校、中学校、高等女 学校程度の地理およ び歴史教授用外国地 名人名の称え方書き 方を取り調べさせ た。(2月12日) 外国地名及人名取

年 度	関 係 局	調 査 事 項	関 連 事 項	備 考	関 係 委 員 会
		コト 4 方言ヲ調査シテ標準語ヲ選 定スルコト 目下ノ急ニ応セシカタメニ 左ノ事項ニ就キ別ニ調査スル トコロアラントス 1 漢字節減ニ就キテ 2 現行普通文體ノ整理ニ就キ テ 3 書簡文其他日常慣用スル特 殊ノ文體ニ就キテ 4 国語仮名遣ニ就キテ 5 字音仮名遣ニ就キテ 6 外国語ノ写シ方ニ就キテ			調査事項、調査方針等 復命。(8月9日) 同訂正事項復命。 (12月4日)
明治36年(1903年)	官房 図書課		国語調査資料 収集のため「音 韻并ニ口語法取 調ニ関スル事 項」を印刷、各 県に配布し、そ の調査方を依頼 した。	小学校令改正、小 学校教科書の大部分 は文部省で編集する こととなる。 (省令第2号) (4月29日)	外国地名及人名の称 え方書き方に関する 報告の増補訂正事項 を復命した。 (11月10日)

年 度	関 係 局	調 査 事 項	関 連 事 項	備 考	関 係 委 員 会
明治37年(1904年)	官房 図書課	国語国字改良論說年表 1冊 (4月1日) 片仮名平仮名読ミ書キノ難易ニ 関スル実験報告 1冊 (4月1日) 方言採集簿 1冊 (10月) 仮名字羅馬字優劣論比較一覽 1枚 (11月)		国定小学読本新 刊, 漢字の数500字, 口語文が多くなる。 (図書課) 編集中, かなづかい の問題を痛感し, 草 案を作成した。(38年 の諮問となる。)	
明治38年(1905年)	〃	音韻調査報告書 2冊 (3月7日) 音韻分布図29枚 (3月7日) 「仮名遣諮問ニ対スル答申」を 行なった。 (11月21日)	文部省は文法 許容案, 仮名遣 改定案につい て, 高等教育会 議・国語調査委 員会・帝国教育 会および師範学 校に諮問案を提 出した。 (3月20日)	仮名遣試験成績表 (1冊) 発行 (官房図書課) (3月) 「教科書ノ検定又ハ 編纂ニ関シ文法上許 容スヘキ事項」告 示。 (12月2日)	
明治39年(1906年)	〃	現行普通文法改定案調査報告之 一 (3月5日) 口語法調査報告書 2冊 口語法分図布 37枚 (12月7日)		「句読法案」「分別 書キ方案」発表 (官房図書課) (3月) 「明治38年2月仮名	

年 度	関 係 局 部	調 査 事 項	関 連 事 項	備 考	関 係 委 員 会
				遣改定案ニ対スル世 論調査報告」発表。 (官房図書課) (9月10日) 「新旧仮名遣対照語 集」発行。(官房図書 課) (12月24日)	
明治40年 (1907年)	官房 図書課	送仮名法 1冊 (3月20日)	衆議院で小学 校にローマ字を 課する建議案を 可決した。	小学校令を改正。 (3月21日) 義務教育年限を6 年に延長。 (明41年4月から実 施。)	
明治41年 (1908年)	〃	漢字要覧 1冊 (5月27日)	「音韻および口 語法取調に關す る事項」の印刷 物を各府県に配 布し、第2期の 取り調べを依囑 した。	「新仮名遣国語表 案」発表。 (官房図書課)(5月) 小学校令施行規則 改正。(9月7日) 第1, 2, 3号表削 除。(第2号表は、 いわゆる棒引きかな づかいで、これを廢 止した。)	臨時仮名遣調査委 員会官制公布。 (5月23日) 文部大臣から臨時 仮名遣調査委員会に 諮問案を交付した。 (5月28日) 同諮問案撤回。 (9月5日) 教科用図書調査委

年 度	関 係 部 局	調 査 事 項	関 連 事 項	備 考	関 係 委 員 会
					員会設置。 (9月4日) 臨時仮名遣調査委員 会廃止。(12月12日)
明治42年 (1909年)	官房 図書課	仮名遣及仮名字体沿革史料 1冊 (3月30日)		臨時仮名遣調査委員 会議事録発行。 (官房図書課) (1月18日)	
明治43年 (1910年)	〃			尋常小学国語読本 (改定) (黒読本) 漢字数 1,360字	
明治44年 (1911年)	図書局 第二課	口語体書簡文に関する調査報告 1冊 (4月) 仮名源流考, 仮名源流考証本写真 2冊 (9月) 平家物語につきての研究(前編, 平家物語考) 1冊 (12月)			
明治45年 } (1912年) 大正元年 }	〃	疑問仮名遣 (前編, 学説の部) 1冊 (9月)			
大正2年 (1913年) 官制改正(6月13日)	図書局 廃止		以後, 教育調査 会が教育内容	「独逸国内各都市の 小学校に於ける国語	教育調査会 官制公 布。 (6月13日)

年 度	関 係 局	調 査 事 項	関 連 事 項	備 考	関 係 委 員 会
			の改善に関連して、国語問題を扱うことになった。	教育に関する報告」 発行。(普通学務局) (6月15日)	
大正3年(1914年)		周代古音考及韻徴 2冊 (6月) 平家物語につぎての研究(後編, 平家物語の語法) 上下 2冊 (12月)	全国小学校教 育会議で小学校 では歴史的かな づかいを排して 発音的かなづか いを用いること を可決し、文部 大臣に建議し た。(4月) 教育調査会か ら国語を平易に するための調査 の機関の設置に ついて建議し た。(10月)		教育調査会官制改 正。(6月1日)
大正4年(1915年)		疑問仮名遣(後編, 実例の部) 1冊 (1月)			
大正5年(1916年)	普通学	口語法 (12月)		文部省で普通教育	

年 度	関 係 局	調 査 事 項	関 連 事 項	備 考	関 係 委 員 会
	務局 第三課			における国語調査を 始めた。 (5月)	
大正6年(1917年)	普通学 務局 第三課	口語法別記 (4月)		「英国に於ける語法 上の術語制定運動」 (1冊)発行。 (普通学務局)(10月)	
大正7年(1918年)	〃			「外来語問題に關す る独逸に於ける国語 運動」(1冊)発行。 (普通学務局) (7月3日) 尋常小学国語読本 (通称白読本) 漢字数 1,366字	
大正8年(1919年)	〃			文部部内の公用文 を口語体に改める旨 の次官通牒が出た。 (4月) 「アクセントとは何 か」「小学読本巻の	

年	度	関係局	調査事項	関連事項	備考	関係委員会
					1, 2 のアクセント」 「外国における国字 問題」発行 (普通 学務局) (7月) 文部省から最初の 口語体の訓令が出 た。(7月29日) 「漢字整理案」発行。 (普通学務局) (12月25日)	
大正9年	(1920年)	図書局 第一課			「口語文用例集」 第一輯刊行 (1月)	教科書調査会官制 公布。(4月27日) 教科用図書調査委 員会官制廃止。 (4月27日)

3 臨時国語調査会設置

年	度	関係局	調査事項	関連事項	備考	関係委員会
大正10年	(1921年)	図書局 第一課	調査方針 今後調査整理を要する問 題 1 常用漢字の標準につい て 2 字音および国語のかな づかいの整理 3 口語文の調査整理 (中橋文相あいさつ)	東京・大阪の14の大新聞 社が発起人となり「漢字制 限に付全国新聞社に御協議 申上度…」の文章を発表。 (3月21日) 議會や文部省への請願・ 建議の提出増加。	「口語文用例集」 発行 (普通学務局) (5月)	

年 度	関 係 部 局	調 査 事 項	関 連 事 項	備 考	関 係 委 員 会
		まず常用漢字の調査に着手した。			
大正11年 (1922年) 会長 上田万年	図書局 第一課	常用漢字, 実用漢字等を調査した。			
大正12年 (1923年)	〃	常用漢字表 (5月9日) 略字表 (5月12日) 常用漢字選定経過発表。 (5月12日)	漢字整理期成会が結成され, 9月1日から20の新聞社で実施予定であったが, 関東大震災のため実施不能となった。		
大正13年 (1924年)	図書局 編修課				
大正14年 (1925年)	〃	仮名遣改定案 (3月4日)	東京の10の新聞社が使用する漢字を従来の約1/3に限定する申し合わせを宣言した。 (6月1日)		
大正15年 } (1926年) 昭和元年 }	〃	仮名遣改定案補則——当字ノ廃棄ト外国語ノ写シ方—— (5月12日) 字体整理案 (7月7日) 漢語整理案ソノ一, ソノ二, ソノ三 (7月7日)		「法令形式ノ改善ニ関スル件」が内閣訓令号外で公布された。 (6月1日)	

年 度	関 係 部 局	調 査 事 項	関 連 事 項	備 考	関 係 委 員 会
昭和2年(1927年)	図書局 編修課	漢語整理案 ソノ四, ソノ五, ソノ六, ソノ七, ソノ八, ソノ九, ソノ十, ソノ十一,			
昭和3年(1928年)	〃	漢語整理案 ソノ十二, ソノ十三(ソノ 一)(ソノ二)			
昭和4年(1929年)	〃			「本邦常用漢字の 研究」発表。(内閣 印刷局研究所) (5月)	
昭和5年(1930年)	〃				臨時ローマ字 調査会官制公 布。(11月25日) 会長 田中隆三 委員 35人
昭和6年(1931年)	〃	常用漢字表ノ修正 (6月3日) 仮名遣改定案ノ修正 (6月3日)	満洲事変(9月)以後, 中国の地名・人名を書く必 要と軍部の発表に漢語の使 用が多くなったため, 各新 聞社での表外漢字の使用が	内閣訓令「資源 ニ関スル標準用語 ノ使用普及ニ関ス ル件」, 告示「資源 ニ関スル標準用語	

年 度	関 係 部 局	調 査 事 項	関 連 事 項	備 考	関 係 委 員 会
			多くなった。	中薬品ニ関スルモノ (1月31日)	
昭和7年(1932年)	図書局 編修課			内閣告示「燃料, 油脂, 塗料及顔料 標準用語」 (7月1日)	
昭和8年(1933年)	〃			小学国語読本 (いわゆるサクラ 読本。)6年間に提 出された漢字の数 は1,362字	
昭和9年(1934年) 臨時国語調査会官制 廃止。(12月21日)	〃	国号呼称統一案を決定, 発 表。 (3月19日)	NHKが, 「放送用語並 発音改善調査委員会」を設 けた。		国語審議会官 制公布。 (12月21日)

4 国語審議会設置

年 度	会 議 回 数	おもな審議事項	審 議 結 果	備 考
昭和9年				○国語審議会設置。 (昭9.12.21) 会長 南 弘 副会長 穂積重遠